

通し 番号	名 称	応募締切	校内締切	金 額	形 態	資 格	対象 人数	備考
20	茨城県地域医療医師修学資金	各大学により異なるため、右欄WEBサイトを要確認	各自応募	国立月額20万円 私立月額25万円	貸与	・指定従事医療機関において、医師の業務に従事しようという意思のもと、茨城県地域枠入学者として入学する学生 ・利用可能な大学 筑波大学、北里大学、東京医科大学、杏林大学、日本医科大学、帝京大学、順天堂大学、昭和大学、東京医科歯科大学	各大学により異なるため、右欄WEBサイトを要確認	・出願の際、大学と県の双方への出願が必要になる点に注意。 ・以下のサイト(募集要項、ガイドブック)もよく確認すること。 https://ibaraki-dl.jp/reiwa4_chiikiwaku/
21	本庄国際奨学財団 高校生・高専性対象奨学金	2022.2.15 ～ 2022.3.31	各自応募 (オンライン)	月額5万円	給付	・日本の国公立大学に進学希望であること ・1学年の通年成績が評定平均値4.0/5.0以上であること。 ・家庭の経済状況が基準を満たしていること (WEB、資料等を参照)。	10名	提出書類に手貝の課題作文(400字2枚)を含む。 書面及び面接選考は2022年4月以降 ・以下のサイトも確認すること。 https://www.hisf.or.jp/scholarship/high-school/
26	医学部進学者向け教育ローン利子補給事業について	県予算額まで	各自応募	対象借入限度額 3000万円	給付	・医学部へ進学する予定の者で、申請時に1年以上県内に在住している者。 ・県と協定を締結した金融機関から、医学部進学者向けの教育資金の融資を受ける予定の者	50名程度	・本制度は、茨城県が県内高校生の医学部進学を支援するため、県内金融機関と提携し、都道府県初の医学部進学者向けの「実質金利ゼロ」の教育ローンである。 ・以下のサイトも確認すること https://ibaraki-dl.jp/news/doctor/148/
27	キーエンス財団奨学金	2022.2.1 ～ 2022.4.8	各自応募	月額8万円	給付	・2022年4月に日本の大学に入学する者 ・2022年4月1日で20歳以下である者 ・経済的な支援を必要とする者	500名程度	・他の貸与型奨学金との併用可。 ・以下のサイトを確認し、各自で申し込み手続きを行うこと https://www.keyence-foundation.or.jp/scholarship01/
31	2023年度アメリカ高校交換留学奨学金	2022.3.31	各自応募	—	給付	2023年4月時点で茨城県内の高校に在籍する高校生	5名	・以下のサイトも確認し、申請書類をダウンロードすること。 https://www.global-education-ibaraki.com/blank-7
33	J. POSHまなび奨学金	2022.5.31	各自応募	月額1万	給付	・本人の保護者を乳がんで亡くしている、または本人の保護者が乳がんで闘病中。 ・経済的な理由により修学・継続が困難。 ・給付開始時に高等学校等に在学している。	85名	・募集開始は2022年4月 ・他の奨学金との併用可

34	大洗町奨学生	2022.4.5	各自応募	月額4万～	貸与	・大洗町に1年以上居住する者の子である。 ・令和4年4月に大学への入学を予定している。 ・人物・学業ともに優良である。 ・経済的に理由により修学が困難である。	5名程度	・無利子、貸付最終年翌年から10年以内に全額返還(繰り上げ返還可)。
35	ひとり親家庭支援奨学金制度	2022.4.27	各自応募	月額3万	給付	・ひとり親世帯であり、週gカウに関して経済的に困難な生徒 ・夢を実現するための意欲があり、社会への貢献を希望している品行方な生徒 ・全国母子寡婦福祉団体協議会加盟団体の会員、及び入会を希望する方の子ども ・会員登録している加盟団体、及び入会を希望する団体代表者が奨学生として推薦するにふさわしい生徒	400名	・次の場合は対象外 世帯一人あたりの収入平均額が100万円以上 2021年度の学校出席率が80%未満の場合 本奨学金の申請は1世帯1名まで
36	山新育英財団	2022.5.7	各自応募	月額2万	給付	・茨城県内の中学を卒業し、茨城県内の高校に入学する生徒(新入生に限る) ・学業・人物共に優秀でありながら、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者	20名	・提出書類に、小論文「いわれて嬉しかった言葉」あり。 ・給与期間は、在学する学校の正規の最短修学期間とする。
37	毎日希望奨学金	2022.4.20	各自応募	月額2万	給付	・東日本大震災で保護者を失い、学業の継続が困難な状況の高校生(被災地以外の居住者も対象)	50名程度	・他の奨学金との重複受給可。 ・6・7・10・1月の4回に分けて支給。 ・生活の様子を報告していただき、毎日新聞などで紹介することあり。 ・以下のサイトも参照 https://www.mainichi.co.jp/shakajigyo/kibo.html

募集一覧は随時更新します。

出願には、書類準備から発送まで、2週間程度の余裕が必要です。
応募条件の詳細は、奨学金係＜理科 大藤＞に問い合わせてください。